

ばあーさん

向中野小学校 一年 きくち だいし

ぼくは、ばあーさんが大好きだ。ばあーさ

んは、とてもおもしろくて、かっこいい。

ばあーさんは、ぼうずのぼくよりけがな

り。」「ごうしてけがなりの。」

と、きくと、

「おぼうさんに、なりたいのさ。」

「おうちでーばんこうきゅうなアス

を食うが、いい。」

「ぼくは、しっぺている。びょうりのくまみ

たいなおいしやさんがおしえてくれた。ばあ

ーさん、は、がんだった。

そんなばあーさんは、はやおきだ。まだみん

ながあっているいかに、おきる。に、おにぎで、

ざ。そのおぬい、いもむしを、つけ

一太ようにかちたいのさ。」

かっこいい。太ようしバトルしているばあ

ーさん、は、かっこいい。

ばあーさん、は、だれだ、なるけ、た、な、つて、車

イスになったの。

「どうして、車イスにのるの？」

「おきくし、」

「スカカンをのせて、ドライブスルトめさじ」

「ぼくをむぎにのせて、あつちこつちはして」

「くれたのびようじんの人は、」

「アスピードいはいですよー」

「おつっていたけど、おあーさんのうらて

いはいようがだ。

「おあーさんは、しんた。大すきなコイラと

うすかあまんじゅう食べ、おたらそのまま

うぞかなかった。ママが、

「おあーさんはいつてもうちにいるよ。」

「いっていった。ぼくは、うれしかった。」

「ママ、人イレにいらっしやう。」

「よるにゆうし、」

「おあーさんが、そはいりるからーでい

ておいでし」

「というのそれは、ちあつとこおいの